

別紙 1

平成 13年度科学技術振興調整費 戦略的研究拠点育成制度 提案課題の概要

提案機関名	課題名	組織運営構想の概要
<p>①農業技術 研究機構 野菜 茶業研究所</p>	<p>茶の文化・機能性解析と 遺伝資源研究の融合</p>	<p>アジアに遺伝変異の中心地があり、多様な文化を成立させてきた茶について、機能性と化学成分を軸に茶の文化を解析して、新たな機能性を解明するとともに、世界のトップレベルにある茶ゲノム研究と遺伝資源研究とを融合して、新品種及び新製品の開発を図る。そのため、関連分野の国内外の研究者が参画できる世界的研究拠点「茶サイエンスプラザ」を立ち上げる。これにより、茶利用による人類の健康、国土の利用・保全へ貢献する。</p>
<p>①農業生物 資源研究所</p>	<p>植物ゲノム機能ネット ワーク研究センターの育 成</p>	<p>農業生物資源研究所内に植物ゲノム機能ネットワーク研究センターを設立し、5つの研究チーム(遺伝子相互作用、タンパク質相互作用、タンパク質高次構造解析、タンパク質機能予測、生物情報ネットワーク解析)を設置し、イネポストゲノム研究の加速を図る。国内外から広く公募により人材を集め、流動化を図る。これらの体制をコアとして、植物ゲノム研究、植物分子生理学研究等を行う国内外の研究機関、民間企業・大学等との情報や研究資源の共有化を通じた連携・研究協力を図り、世界をリードする植物ポストゲノム研究拠点を構築する。</p>
<p>①森林総合 研究所</p>	<p>アジア太平洋森林圏リス ク管理システム構築</p>	<p>アジア太平洋森林圏の危機を打開するため、森林総合研究所内に「アジア太平洋森林圏リスク管理研究センター」を設け、同センターに附置する「森林圏リスクシミュレーション・バーチャル研究所」に世界の英知を結集して、1)観測技術の開発ならびに監視網の構築、2)森林圏変動メカニズムの解明、3)統合型リスクシミュレータの開発、を効率的に推進し、アジア太平洋森林圏のリスク管理システムの構築を目指す。</p>